

< 統 計 資 料 >

平成 2 9 年 5 月 1 日

平成 2 9 年 4 月の型式試験等状況

1 型式試験実施状況

(1) 概況

遊技機種別	受理件数	結果書交付	適 合	不 適 合	みなし不適合
ぱ ち ん こ	7 5	8 5	3 4	5 1	0
回 胴	7 8	7 0	1 7	5 3	0
アレンジボール	0	0	0	0	0
じ や ん 球	0	0	0	0	0

(2) 不適合事例

ア ぱちんこ等

審査区分	不適合事項	理 由
設計書等審査	別表第 4 (1)チ(イ)	高確率・非入賞容易状態時において、遊技の状態を変更していないにもかかわらず、特別図柄表示装置の変動パターン群を変化させることにより、出玉率を変化させる性能を有していた。
遊技機の試験	別表第 4 (1)ロ(ハ)	試射試験の結果、短時間出玉率が規則で定める値を超えた。
	別表第 4 (1)ロ(ニ)	試射試験の結果、中時間出玉率が規則で定める値に満たなかった。
	別表第 4 (1)ロ(ホ)	試射試験の結果、役物比率が規則で定める値を超えた。
		試射試験の結果、連続役物比率が規則で定める値を超えた。
	別表第 4 (1)チ(イ)	特別図柄表示装置の変動停止時に演出用の図柄が上下に揺れて完全に停止しない演出を行っていた。 2 個の特別図柄表示装置に係る演出表示器の表示が、どちらの特別図柄表示装置に係る演出であるか明確に区別して表示しない性能を有していた。

イ 回 胴

審査区分	不適合事項	理 由
設計書等審査	別表第 3 (2)イ(ホ)	主基板のロムのデータ領域の容量が、規則で定める値を超えた。
	別表第 3 (3)ヌ	主基板のロムのデータ領域に「0」以外の未使用のデータが存在していた。
	別表第 5 (1)ロ(ロ)	入賞に係る図柄の組合せを表示した場合に、獲得することができる遊技メダル等の数があらかじめ定められていない性能を有していた。
	別表第 5 (1)リ(イ)	複数の入賞と役物連続作動装置の作動に係る条件装置が同時に作動した遊技において、作動した条件装置に係る図柄の組合せができるだけ多く表示される又は獲得できる遊技メダル等の数が最も多くなるようあらかじめ定められた制御を行わない性能を有していた。
		再遊技に係る図柄の組合せを表示したとき、外部集中端子板から正確なメダル払出信号を出力しない性能を有していた。
	第一種特別役物作動時に、入賞に係る条件装置の作動する確率が、非作動時よりも下がる性能を有していた。	

		第一種特別役物に係る役物連続作動装置及び第一種特別役物の作動時に、遊技メダル等の獲得性能が、第一種特別役物に係る役物連続作動装置非作動時よりも下がる性能を有していた。
		回胴回転時の演出後に、表示される図柄の位置に偏りが生じる性能を有していた。
		特定の操作を行うことで、出玉が増える再遊技に係る条件装置の作動する確率の状態に、早めに移行する又は遅めに移行する状態を選択できる性能を有していた。
	別表第5 (1)リ(ロ)	第一種特別役物作動時の入賞に係る図柄の組合せの数が、非作動時よりも減少する性能を有していた。
遊技機の試験	別表第3 (1)ロ	周辺基板において、その型式を特定する管理番号が、異なる部品を搭載した他の基板の管理番号と同一となっていた。
	別表第5 (1)ロ(へ)	シミュレーション試験の結果、短時間出玉率が規則で定める値を超えた。
	別表第5 (1)ロ(チ)	シミュレーション試験の結果、中時間出玉率が規則で定める値を超えた。
	別表第5 (1)ロ(ヌ)	シミュレーション試験の結果、長時間出玉率が規則で定める値を超えた。
	別表第5 (1)ロ(ヲ)	シミュレーション試験の結果、役物比率が規則で定める値を超えた。
		シミュレーション試験の結果、連続役物比率が規則で定める値を超えた。
	別表第5 (1)ロ(ホ)	試射試験の結果、短時間出玉率が規則で定める値を超えた。
	別表第5 (1)ロ(ト)	試射試験の結果、中時間出玉率が規則で定める値を超えた。
	別表第5 (1)ロ(リ)	試射試験の結果、長時間出玉率が規則で定める値を超えた。 試射試験の結果、長時間出玉率が規則で定める値に満たなかった。
	別表第5 (1)ロ(ル)	試射試験の結果、連続役物比率が規則で定める値を超えた。
	別表第5 (1)リ(イ)	周辺基板のロムをこん跡を残さずに取り外せる構造となっていた。

2 型式試験受理事況

(1) 概況

遊技機種別	受理件数	持帰り件数	取消件数
ぱちんこ	75	0	3
回 胴	78	0	3
アレンジボール	0	0	0
じゃん球	0	0	0

(2) 取消事例

ア ぱちんこ等

(ア) 型式試験の申請予定を変更した。

(イ) 遊技機の仕様に変更が生じた。

イ 回胴

(ア) 型式試験の申請予定を変更した。

(イ) シリーズ機が適合した。

型式試験実施状況・申請受理状況(平成29年)

1 型式試験実施状況

区分		月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ぱちんこ	受理件数	62	74	83	75									294
	結果書交付	65	81	91	85									322
	適合	38	31	38	34									141
	不適合	27	50	53	51									181
	みなし不適合	0	0	0	0									0
回胴	受理件数	65	73	86	78									302
	結果書交付	55	79	84	70									288
	適合	20	32	33	17									102
	不適合	35	47	51	53									186
	みなし不適合	0	0	0	0									0
アレンジボール	受理件数	0	0	0	0									0
	結果書交付	0	0	0	0									0
	適合	0	0	0	0									0
	不適合	0	0	0	0									0
	みなし不適合	0	0	0	0									0
じゃん球	受理件数	0	0	0	0									0
	結果書交付	0	0	0	0									0
	適合	0	0	0	0									0
	不適合	0	0	0	0									0
	みなし不適合	0	0	0	0									0

2 申請受理状況

区分		月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ぱちんこ	受理件数	62	74	83	75									294
	持帰り件数	0	0	0	0									0
	取消件数	6	4	5	3									18
回胴	受理件数	65	73	86	78									302
	持帰り件数	0	1	1	0									2
	取消件数	1	1	3	3									8
アレンジボール	受理件数	0	0	0	0									0
	持帰り件数	0	0	0	0									0
	取消件数	0	0	0	0									0
じゃん球	受理件数	0	0	0	0									0
	持帰り件数	0	0	0	0									0
	取消件数	0	0	0	0									0

(注1) 持帰り件数とは、申請受理時の確認で書類の不備、試験用の遊技機の不具合などがあり、申請手続きを中止して持ち帰った件数を示す。

(注2) 取消件数とは、申請日時の予約を受け付けた後、申請日の前日又は当日に予約が取り消された件数を示す。

(注3) 申請が取り下げられたものについては、受理件数を遡って修正している。